

Title	アイドル♥ヒロインを探せ!/主要研究資料
Sub Title	Selected bibliography
Author	厚見, 浩平 (Atsumi, Kōhei) 田澤, 紗都美 ( )
Publisher	慶應義塾大学アート・センター
Publication year	2015
Jtitle	Booklet Vol.23, (2015. ) ,p.128- 132
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	Idole♥Heroine IV
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11893297-00000023-0128">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11893297-00000023-0128</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# アイドル♥ヒロインを探せ！／主要研究資料

厚見浩平 編

これまで発行されたアイドルに関する書籍や論文のうち、現在入手・閲覧が比較的容易なものを以下に挙げたが、本号収録の論考が多様なテーマを持つことからもうかがえるように、「アイドル」という語が表す範疇はきわめて広く、かつ漠然としており、資料の収集・整理にあたっては一定の制約を加えざるをえなかった。本一覧では、「『アイドル』の読み方 混乱する「語り」を問う」の著者である香月孝史の考察をふまえ、日本における特殊な一芸能ジャンルとしての「アイドル」に焦点を絞って選考を行った。その際、評論家や研究者による論考のみならず、アイドル自身やその周辺の人物による著作、ファンによる分析なども、今後の研究に寄与しうる文字資料として対象に含めている。一方、写真集やCDといった視聴覚資料は、分量の夥しさと、「文献表」たる本一覧の性格に鑑み、掲載を見送った。また、本号全体の主旨に照らし合わせ、今回は女性アイドルに関する資料のみをリストアップした。そのため、男性アイドルに関する文献などは意図的に収録を避けている。

〔凡例〕

書籍

著者名 『書籍名』 出版社、出版年月

論文

著者名 「論文名」「収録誌名」通号、出版社、出版年月、頁

\* 文献は著者名順（同一著者の場合は、出版年順）

（著者名・編集者名が明記されていない雑誌などは著作名順）

## I. アイドルとその周辺人物による文献

- 相澤秀禎『松田聖子のバランスシート』光文社、1983  
相澤秀禎『アイドル工房 ― 夢の紡ぎ方』スコラ、1995  
相澤秀禎『人気作りの法則』東洋経済新報社、1998  
相澤秀禎『人生に拍手を！』講談社、2007  
阿久悠『愛すべき名歌たち ― 私的歌謡曲史 ―』岩波新書、1999  
阿久悠・和田誠『A面B面―作詞・レコード・日本人』筑摩書房、1999  
阿久悠『夢を食った男たち―「スター誕生」と歌謡曲黄金の70年代』文藝春秋、2007  
阿久悠『阿久悠 命の詩～『月刊 you』とその時代～』講談社、2007  
阿久悠『生きっぱなしの記 ― 私の履歴書』日本経済新聞出版社、2007  
阿久悠『歌謡曲の時代 ― 歌もよう人もよう ―』新潮社、2007  
川瀬泰雄『プレイバック 制作ディレクター回想記 音楽「山口百恵」全軌跡』学研教育出版、2011  
酒井政利『不可解な天使（スター）たち』廣済堂出版、1985  
酒井政利『神話を築いたスターの素顔』文藝春秋、1995  
酒井政利『アイドルの素顔―私が育てたスターたち』河出書房新社、2001  
酒井政利『プロデューサー ― 音楽シーンを駆け抜けて』時事通信社、2002  
篠山紀信『元気な時代、それは山口百恵です』講談社、2011  
千家和也『作詞の本』二見書房、1976  
都倉俊一『あの時、マイソング ユアソング』新潮社、2008  
堀威夫『わが人生のホリプロ いつだって青春』小学館文庫、2005  
森昌子『明日へ』幻冬舎、2006

- 森昌子『それはじんせい…』主婦と生活社, 2011  
美空ひばり『美空ひばり 虹の唄』日本図書センター, 2012.3  
山口百恵『蒼い時』集英社, 1980

## Ⅱ. アイドルに関する論考

- 秋元康・田原総一郎『AKB48の戦略! 秋元康の仕事術』アスコム, 2013  
麻生香太郎『誰がJ-POPを救えるか? マスコミが語れない業界盛衰記』朝日新聞出版, 2013  
東琢磨「不幸という名の武器を共有せよ——美空ひばりをめぐって」『ユリイカ』31(4), 青土者, 1999, 172-183頁  
安西信一『ももクロの美学〈わけのわからなさ〉の秘密』廣済堂出版, 2013  
井手口彰典「現代的想像力と「声のキャラ」——初音ミクについて」鹿兒島国際大学「福祉社会学部論集」29(2), 2010, 18-32頁  
井上章一「大素人集団の妙味『美人論』再考」『中央公論』127(6), 中央公論新社, 2012, 118-123頁  
稲増龍夫『アイドル工学』筑摩書房, 1989/(増補版) 1993  
上野千鶴子, 大塚英志「「戦後民主主義」と「松田聖子」」『諸君!』26(11), 文芸春秋, 1994, 90-102頁  
薄井幸, 中村雅裕, 鈴木茂之, 青木幸代, 大場章男「ポリゴンアイドル 薄井幸」『情報メディア』96(29), 情報処理学会, 1996, 33-39頁  
宇多丸『ライムスター宇多丸の「マブ論 CLASSICS」アイドルソング時評 2000～2008』白夜書房, 2008  
宇野常寛『リトルピープルの時代』幻冬舎, 2011  
宇野常寛『日本文化の論点』筑摩書房, 2013  
浦崎浩實「美空ひばり研究 ひばり+沢島忠監督映画のプラチナ・コンビ」『キネマ旬報』1432, キネマ旬報社, 2005, 182-184頁  
AKB研究会チームH「「だだ漏れ」時代の純日本型アイドル」『新潮45』31(7), 新潮社, 2012, 107-119頁  
小笠原隆夫「山口百恵主演映画のいくつかの特徴について 再び、今、なぜ百恵なのか」『日本大学芸術学部紀要』41, 2005, 5-17頁  
小笠原隆夫「百恵・友和映画の後期に向けて 現代娘のキャラクターの向こうに」『日本大学芸術学部紀要』44, 2006, 5-29頁  
小笠原隆夫「百恵・友和映画, 最後の展開に向けて 「ホワイト・ラブ」「天使を誘惑」「古都」大地より湧き上がる万物への愛の姿」『日本大学芸術学部紀要』45, 2007, 5-24頁  
岡島紳士・岡田康宏『グループアイドル進化論「アイドル戦国時代」がやってきた!』毎日コミュニケーションズ, 2011  
岡田康宏『アイドルのいる暮らし』ポット出版, 2013  
小倉千加子『アイドル時代の神話』朝日新聞, 1994  
小倉千加子『増補版 松田聖子論』朝日新聞出版, 2012  
大下英治『魔性のシンデレラー—松田聖子ストーリー』角川書店, 1989  
大下英治『雪村いづみ物語』平凡社, 2008  
太田省一『アイドル進化論 南沙織から初音ミク, AKB48まで』筑摩書房, 2011  
「「若さ」をキーワードにアイドル誌の振り返りを試みる」  
太田米男「美空ひばりの映画『青空天使』(1950年)について」大阪芸術大学「芸術」26, 2003, 143-157頁  
大塚英志『「おたく」の精神史—1980年代論』講談社, 2004

- 大塚英志『システムと儀式』本の雑誌社, 1988
- 岡本博「現代社会現象として美空ひばり 新しい年の映画界への課題」『キネマ旬報』29, キネマ旬報社, 1952, 58頁
- 香月孝史『「アイドル」の読み方 混乱する「語り」を問う』青弓社, 2014
- 金井覚『アイドルバビロン 外道の王国』太田出版, 1996
- 川本三郎『今ひとたびの戦後日本映画』岩波書店, 2007
- 菊池清麿『日本流行歌変遷史—歌謡曲の誕生からJ・ポップの時代へ』論創社, 2008
- 北川昌弘『山口百恵→AKB48 ア・イ・ド・ル論』宝島社, 2013
- 北田暁大「ポピュラー音楽にとって歌詞とは何か」『ユリイカ』35 (9), 青土社, 2003, 171-185頁
- クリス松村『「誰にも書けない」アイドル論』小学館, 2014年
- 軍司貞則『ナベプロ帝国の興亡』文藝春秋, 1992
- 高護『歌謡曲—時代を彩った歌たち』岩波新書, 2011
- 古橋健二『アイドルリアン超人伝説—アイドルに人生を捧げたエイリアンたちの記録!』JICC出版局, 1990
- 小林よしのり・中森明夫・宇野常寛・濱野智史編『AKB48白熱論争』幻冬舎, 2012
- 小林よしのり『ゴーマニズム宣言スペシャル AKB論』幻冬舎, 2013
- 近藤沙紀「AKB48 その人気の秘密と魅力 過去、現在、そして未来へ」京都教育大学史学会「桃山歴史・地理」49, 2014, 3-54頁
- 斎藤茂『歌謡曲だよ! 人生は—「平凡」編集長の昭和流行歌覚え書』マガジンハウス, 2000
- 斎藤完「美空ひばりの普及と初期映画の関係」山口大学教育学部「研究論叢」60第3部 芸術・体育・教育・心理, 2010, 115-126頁
- 斎藤完「美空ひばりの普及と映画の関係」山口大学「研究論叢」62第3部 芸術・体育・教育・心理 2012, 145-152頁
- 境真良『アイドル国富論 聖子・明菜の時代からAKB・ももクロ時代までを解く』東洋経済新報社, 2014
- 笹山敬輔『幻の近代アイドル史: 明治・大正・昭和の大衆芸能盛衰記』彩流社, 2014
- 佐藤裕亮, 北山晴一, 片上平次郎「私たちの身体はどこにあるのか AKB48の現れ方を中心に」立教比較文明学会「立教比較文明学紀要」13, 2013, 129-140頁
- さやわか『AKB商法とは何だったのか』大洋図書, 2013
- さやわか『10年代文化論』星海社, 2014年
- 桂秀実『昭和の劇 映画脚本家笠原和夫/笠原和夫, 荒井晴彦』太田出版, 2002
- 篠田正浩・若山滋『アイドルはどこから—日本文化の深層をえぐる』現代書館, 2014
- 柴那典「ロングインタビュー 秋元康」『日経ビジネス associe』10 (17), 日経BP社, 2011, 68-72頁
- 柴那典『初音ミクはなぜ世界を変えたのか?』太田出版, 2014  
[初音ミクという「現象」を「サード・サマー・オブ・ラブ」ととらえ、ポピュラー音楽史におけるそのインパクトを検証する]
- 柴台弘毅「音楽を媒介としたコミュニケーションの現在 “会いに行けるアイドル” AKB48を事例に」『関西大学大学院人間科学 社会学・心理学研究』75, 2011, 51-70頁
- 嶋田洋一郎「コピーとオリジナルの観点から見た美空ひばりと占領期の歌謡映画」九州大学大学院「比較社会文化」16, 2010, 7-23頁
- 想田正『美空ひばりという生き方』青弓社, 2009
- 高森万里『森高千里を待ちながら…—スーパーアイドルの徹底解剖』ベストセラーズ, 1995
- 田川律「女学生日記それとも“幻想”文学?—山口百恵「蒼い時」」『思想の科学 第7次』31, 1983, 63-66頁

- 竹内義和『清纯少女歌手の研究—アイドル文化論』青心社, 1987
- 竹中労『完本 美空ひばり』筑摩書房, 2005
- 竹中夏海『IDOL DANCE!!! 歌って踊るカワイイ女の子がいる限り、世界は楽しい』ポット出版, 2012
- 田中秀臣『AKB48の経済学』朝日新聞出版, 2010
- 塚田修一「彼女たちの憂鬱 女性アイドル“冬の時代”再考」鈴木智之・西田善行編『失われざる十年の記憶—一九九〇年代の社会学』所収, 青弓社, 2012
- 坪内祐三『一九七二—「はじまりのおわり」と「おわりのはじまり」』文藝春秋, 2006
- 寺山修司『新・書を捨てよ、町へ出よう』河出書房新社, 2006
- 土井隆義「AKB48の躁、初音ミクの鬱 コミュニ至上主義の光と影」筑波大学社会学研究室「社会学ジャーナル」39, 2014, 1-22頁
- なかにし礼『歌謡曲から「昭和」を読む』NHK出版, 2011
- Nakamura Marie-Paule「美空ひばりとエディット・ピアフ。同時代の偉大な2生涯」『沖縄県立芸術大学紀要』10, 2002, 31-56頁
- 長田美穂『ガサコ伝説—「百恵の時代」の仕掛人』新潮社, 2010
- 中川右介『松田聖子と中森明菜』幻冬舎, 2007
- 中森明夫『アイドルにつぼん』新潮社, 2007
- 中森明夫『午前32時の能年玲奈』河出書房新社, 2013  
[NHK連続テレビ小説「あまちゃん」を分析した表題作ほか、著者の文学論考を中心に集める]
- ナンシー関『ナンシー関大全』文芸春秋, 2003
- 西尾久美子「エンターテインメント事業の比較分析 宝塚歌劇とAKB48」京都女子大学現代社会学部「現代社会研究」16, 2013, 81-93頁
- 西森路代『K-POPがアジアを制覇する』原書房, 2011
- 野地秋嘉『芸能ビジネスを作った男—渡辺プロとその時代』新潮社, 2006
- 花山十也『読むモー娘。AKB、ももクロに立場を逆転された後に、なぜ再び返り咲くことができたのか』コアマガジン, 2014
- 濱野智史「AKBと恋愛 なぜ恋愛よりもAKBにハマってしまうのか」櫻井圭記・濱野智史・小川克彦編『恋愛のアーキテクチャ』所収, 青弓社, 2012
- 濱野智史「「ボンコツ」から「ほんこつ」へ AKB48と成長の物語」『新潮45』31(7), 2012, 99-106頁
- 濱野聡史『前田敦子はキリストを超えた〈宗教〉としてのAKB48』筑摩書房, 2012
- 濱野智史「地下アイドル潜入記 デフレ社会のなれのはて」『新潮45』32(8), 2013, 212-219頁
- 速水健朗『タイアップの歌謡史』洋泉社, 2007
- 平岡正明『山口百恵は菩薩である』講談社, 1979
- 平岡正明『菩薩のリタイア』秀英書房, 1980
- 宝泉薫・ファッション編集『歌謡曲という快樂—雑誌『よい子の歌謡曲』とその時代』彩流社, 2002
- 堀家敬嗣「表象としての《夕暮れ》(第1章)」山口大学教育学部「研究論叢」59 第3部, 芸術・体育・教育・心理 2009, 303-318頁
- 堀家敬嗣「【松田聖子】試論: 歌謡曲の色彩(1)」『研究論叢』63 第3部, 芸術・体育・教育・心理 2013, 241-253頁
- 本田靖春『戦後 美空ひばりとその時代』講談社, 1987
- 松下治夫『芸能王国渡辺プロの真実。—渡辺晋との軌跡』青志社, 2007  
「美空ひばり その魅力を分析する」『キネマ旬報』202, キネマ旬報社, 1958, 63-69頁

- 美空ひばりアカデミー 21編『美空ひばり人と藝 資料集』美空ひばりアカデミー 21, 2005.
- 三田完『プレイバック—70～80年代のスター群像を創り上げたスーパー・プロデューサー酒井政利の輝跡』三天書房, 1995
- 宮内淳子「宝塚少女歌劇の偶像（アイドル）—『歌劇』『少女の友』『少女画報』から」昭和文学会「昭和文学研究」60, 2010, 1-14頁
- 宗像明将「ライブアイドルの今」『アイドル最前線 2013』所収, 洋泉社, 2013  
「モーニング娘。パイブル—知りたいこと、全部。」「別冊宝島」608, 宝島社2001, 1-191頁  
「モーニング娘。パイブル（2）言いたいこと全部。」「別冊宝島」702, 宝島社, 2002, 1-192頁
- 森田睦「なぜ中高年まで夢中になるのか「目が合う」「自分で育てる」アイドル」『中央公論』127（6）, 中央公論新社, 2012, 114-117頁
- 諸井克英「アイドルの彷徨い」『同志社女子大学生生活科学』47, 2013, 38-42頁
- 矢田部英正『美貌の文化史 神と偶像（アイドル）』中央公論新社, 2013
- 山岡捷利「はやり歌とことば（五）そして 美空ひばり」千葉大学「言語文化論叢」1 A1-A36, 1995, 3-31頁
- 山折哲雄『美空ひばりと日本人（増補版）』現代書館, 2001
- 吉崎達彦「K-POPとの比較から読み解く AKB48に学ぶ日本経済の逆襲戦略」『中央公論』127（6）, 中央公論新社, 2012, 124-128頁
- 吉野健三『歌謡曲—流行らせのメカニズム』晩声社, 1978
- 四方田犬彦 編『女優 山口百恵』ワイズ出版, 2006
- 四方田犬彦『「かわいい」論』筑摩書房, 2006年

編集補助：田澤紗都美